

令和4年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人きらめき福祉会	代表者	理事長 竹生 正人	法人・事業所の特徴	当事業所では、「利用者の笑顔と地域社会のために」を法人理念とし、「あなたらしいつまでも」をケア理念に、地域とともに地域の社会福祉に貢献することを使命としています。ケアの専門家として根拠に基づいたケアを実践し、残存機能を活かした自立支援を行い、生活の質の向上と自分らしい生活の支援を行っています。利用者に寄り添った介護サービスの提供に加えて、利用者と地域との関りを深めていくために地域の課題に向き合い地域福祉活動にも力を入れはじめています。
事業所名	きらめきの里鯖江	管理者	後藤 賢司		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
			1人	1人	3人			11人		22人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望、苦情、改善案などのご意見については受付けた職員が事業所内ミーティングで情報共有するとともに窓口担当者、責任者に報告し施設全体で改善を図ります。</li> <li>・職員の介護技術・指導方法の質の向上については2022年度の教育方針に則り、職員個人の学習の機会を通じスキルアップを図ります。</li> <li>・ご利用者様のご意向や状態変化について定期的に生活状況を職員全員で確認し必要があればケアプランを見直しを行い、ご利用者ご家族にご説明していきます。</li> <li>・自立支援のケアについては、ご利用者のご意向を踏まえ理学療法士を含めたケアカンファレンスで安全性と効果性を検討し、ご利用者およびご家族に同意を得た上で実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望、苦情、改善案などのご意見については対応窓口を統一し、ICT機器を活用した情報共有を実施しています。</li> <li>・個人のスキルアップに関しては、新規入職者への導入時研修、全職員を対象にした専門研修を実施しスキルアップを図り、常勤の理学療法士を中心に機能訓練方法や介助方法の指導を行いました。</li> <li>・プランの見直しに関してはケア会議の実施が不十分となり、機能訓練の定着化が課題として残りました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所自己評価にきちんと取り組まれているのがよくわかります。</li> <li>・もっと機能訓練の時間を確保してほしい。(理学療法士がいない日でも運動をしてくれる日とそうでない日があり、習慣化してほしい。)</li> <li>・事業所内に入ることができていないため、どのように過ごされているかもっと知りたい。</li> <li>・個人の洋服と特定できるように何か工夫してほしい。</li> <li>・ケア方法について職員間でやり方が違う場合があるため、安全面、衛生面に配慮しながらある程度方法を統一すると良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能訓練については職場会議や日次ミーティングにて運動メニューの内容を共有して他の職員でも行えるようにし、業務スケジュール表に記載して機能訓練の習慣化を進めていきます。</li> <li>・事業所内での様子を知っていただくために写真付きのモニタリングを行いお配りしていきます。</li> <li>・上着を掛ける際にご利用者の名札を掛けて間違いがないようにしていきます。また、その他の洋服に関してもご家族に確認のもと名前を書くなどの対応をしていきます。</li> <li>・ケア会議やミーティングにてケア方法の重要点を共有してご利用者ご家族に安心して頂けるケアを心がけていきます。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の味付けや量、かたさについて日常的に確認し改善事項を担当者に連絡します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事に関しては、事業所にて味噌汁の温め直しを行い、要望に応じてレンジでの温め直しも行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼食のご飯がかたい事がある。</li> <li>・浴室の環境整備が進み、利用者の能力に応じた対応が取れる体制になっていると感じました。</li> <li>・利用者に関わっている様子が多くみられ、とても良い。</li> <li>・利用者のできることを見極めながら、役割提供や活動提供をしている様子が伺えます。</li> <li>・事業所内の様子を家族にも見せたいと感じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事については、温かいお食事を食べてもらえるように手順の見直しを検討していきます。</li> <li>・役割提供、活動提供については利用者によって偏りがあるため、利用者の思いや生活背景などを普段の関りやケア会議の中で情報共有を行い、自立支援に向けた関りを強化していきます。</li> <li>・事業所の様子を知っていただくために、毎月のモニタリングに加えて、コロナウイルスの情勢に注意しながら事業所とご家族が関わる機会を作れるよう検討していきます。</li> </ul>

C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事やイベント・奉仕活動に継続して参加していきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での健康体操への講師派遣を行いました。</li> <li>・自治会の行事として神社清掃や役員顔合わせにお声掛けいただきました。</li> <li>・市内中学校広報部の施設インタビューを受け、今後利用者との世代間交流について提案致しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベント・奉仕活動には必ず参加して下さって有難いです。</li> <li>・地域でどんなイベントが行われているか分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベント・奉仕活動など利用者の参加できる活動について検討していきます。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人のご意向をお伺いし地域における活動をケアプランに反映し支援していきます。</li> </ul>	余暇時間に散歩やドライブの機会を提供しております。また利用者のご家族の方が主催する写真展イベントに利用者と一緒に参加することができました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気の良い日には屋内にいてではなくて、外に出掛けていきたい。</li> <li>・色々な人と関わって生きがいのある生活を過ごしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の思いや興味のあることなどを普段の関りの中からお聞き、地域と関わる機会の確保に向けて取り組んでいきます。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議においてケアの振り返り内容や事例についてご紹介しご意見をいただき、サービス・ケアの質の向上を図ります。</li> </ul>	2ヵ月に一度運営推進会議を開催して様々なご意見を伺い、改善点に関しては迅速に対応し、より良いケア、地域に開かれた事業所に向けて今後も取り組んでいきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模多機能型居宅介護の取り組みについて家族にも理解されているのでしょうか。</li> <li>・様々なご意見を職員間で共有し、課題に対しての見直しや解決に向けて話し合いを進めることができます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後はより事業所の取り組みを知っていただくために、利用者の活動や取り組みの結果についておしらせしていきます。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を交えた風水害、地震についての防災訓練を実施し、マニュアルの見直しを行います。</li> </ul>	防災訓練については新型コロナウイルス流行期でもあり開催を見送らせていただきましたが、法人看護職によるAED研修を開催し、緊急時の対応方法などの指導を実施しました。DWAT研修に2名受講し要請があれば災害地域に赴くことができる体制となっております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練などがあれば参加してみたい。(前のデイサービスでは参加していた)</li> <li>・防災・災害対策は大切な事ですが、なかなか身につかないこともあるため、計画的にしっかりと実施していく必要があると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き継ぎ全職員へのAED研修を進め、防災訓練についても開催に向けて計画的に進めて行きます。</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 16日 ( 14:00 ~ 15:00 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー (常勤) 横山 永田 丸岡 小松  
(非常勤) 木下みさ 杉本 藤極 小平 木下馨  
鳩間 浅野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	9人	2人	人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日1度ミーティングを行い利用者の状況や職員の申し送りノート、スケジュール表を始業前に確認して勤務に入るようにする。</li> <li>利用者の各担当者が毎月モニタリング (プラン) を行い、ケアマネジャーと担当で内容確認し、職場会議において支援の内容を確認し、共有していく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングを行い、利用者の状況や職員の申し送りノート、スケジュール表を始業前に確認している。</li> <li>モニタリングシートを活用して支援内容を職員間で確認・共有している。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	5	4		11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		8	3		11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7	3	1		11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		9	2		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の情報やニーズについて利用開始前や就業前に申し送りや業務シートの確認を行う事で、利用者の状態について把握ができ、本人、家族からの新たな思いについても職員間での共有が図れ、日々のミーティングにて課題解決に向けた取り組みの協議が行えている。</li> <li>ミーティングは1日1度に限らず、利用者・家族の支援に必要な情報共有のため適宜行い、利用者への気遣いや、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮ができています。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎、訪問、入浴支援によって日々のミーティングに参加できる職員が限られており、課題解決や利用者状態についての多角的視点での十分な協議が行えていない事がある。</li> <li>利用者に関する新たな情報についての共有が職員間で不十分な事があり、サービス利用時に利用者や家族に十分な支援が行えなかった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>初回担当者会議を必ず実施し、課題と目標、利用者、家族が求めていることについて職員間で協議し、不参加者は情報収集を行い確認のサインを行う。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 16日 ( 14:00 ~ 15:00 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー (常勤) 横山 永田 丸岡 小松  
(非常勤) 木下みさ 杉本 藤極 小平 木下馨  
鳩間 浅野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	3人	人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月 1 回行われる全体会議で、利用者の目標や「～したい」を再度確認し利用時の役割分担や目標などを表に書き、毎月出来ているか確認する。 (例) ○○様 目標：歩行の維持、お出かけがしたい。役割分担：ベランダの作物の水やり・タオルたたみ</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月 1 回行われる小規模会議で、利用者の目標・したい事・利用時の役割分担について月次の職場会議で確認し、食器洗いなどの自宅生活の家事動作の維持ができている。</li> <li>小規模会議で行われているが、会議時間の都合もあり利用者全員についての再確認とアセスメントができていない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		4	7		11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7	4		11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		7	4		11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		10	1		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>「本人の目標 (ゴール)、当面の目標「～したい」についてはモニタリングシートを活用して情報共有し把握し提供できており、日々の関りの中から利用者の「～したい」ことを聞き取り、「囲碁を始めてみたい」「外出したい」「誰かとしゃべりたい」等の思いに対して、「囲碁をもっと勉強するために図書館で本を借りた」「写真展に行ってみたかったんや、面白かった」「この歳になって友達ができるとは思わなんだ」など意見をいただいている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲があまりない利用者や思いの訴えの少ない利用者の潜在的な思いを組み取った「～したい」の協議、実現に向けた取り組みが行えていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲があまりない利用者や思いの訴えの少ない利用者の潜在的な思いの把握は、以前の生活背景の再確認や日々のコミュニケーションやスキンシップの中での反応を観察して、職員間で協議し、利用者の「～したい」を明確にしていくプランに反映する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 16日 ( 14:00 ~ 15:00 )

3. 日常生活の支援

メンバー (常勤) 横山 永田 丸岡 小松  
(非常勤) 木下みさ 杉本 藤極 小平 木下馨  
鳩間 浅野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	4人	人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 轍 (ヒアリングシート) を使用して、利用者の性格や趣味や生活などのニーズを聞き出し、職員会議で支援の内容を考えていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒアリングシートを使用している聞き取りを基に利用者への活動提供ができた。回想法レクリエーションとしても活かすことができ、過去について聞き取りをすることで、利用者さん自身の人生・思い出・歴史に触れる事ができた。またそれをきっかけに他の利用者さん同士が懐かしい話をしあったり、忘れていたことを思い出したり、涙を流して昔話を語るなどされていた。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	3	6	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	3			11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		9	2		11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	4			11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	8	2		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者とは直接コミュニケーションを取る、またはヒアリングシートの活用を行い「以前の暮らし方」の把握が以前よりできており、本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができています。</li> <li>・ 本人の声にならない気持ちや体調の変化について職員間で都度共有して支援していることで、家族への状態報告が円滑に行え、受診などの早期の対応に繋がられている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒアリングシートにて「忘れた」「覚えていない」「わからない」と答えられる利用者に対して生活背景を把握するために家族からの聞き取りや利用者情報の中から思い出の場所への外出支援など個別的な支援が十分に行えていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知り得た情報の中から思い出を感じるような活動計画を定期的に行い、利用者の笑顔や意欲の向上に繋がっていく。</li> </ul> ※本人だけではなく、家族からも「以前の暮らし方」について情報収集する。 ※会話や聞き取り時に昔の写真や映像を活用して「以前の暮らし方を」を引き出す工夫をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 10 月 16 日 ( 14 : 00 ~ 15 : 00 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー (常勤) 横山 永田 丸岡 小松  
(非常勤) 木下みさ 杉本 藤極 小平  
木下馨 鳩間 浅野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6 人	5 人	人	11 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の独居の方の近所の方や友人、生活環境やその地域での役割がどうだったのかを知る。</li> <li>・民生委員さんの情報を把握する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所の方や友人と地域で開かれる相談会への出席や、利用者さんから友人を誘ってイベントへ参加されるなどの役割について伺うことができた。また民生委員さんと金銭の相談、人間関係や家族との悩みなど、多様な相談事についてお話をされている事を知ることができた。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5	6		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		2	9		11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?			11		11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			3	8	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解することで、その人の過ごし方、こだわりを尊重し、地域で暮らしていく上で相談しやすいように信頼関係作りを積極的に行っている。</li> <li>・事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているかについては、ご本人からお話を伺ったり、ご家族様から情報を頂き把握している。排泄状況について気になる利用者様に対しては、腹圧マッサージや尿失禁を予防する体操などを行い、嘔吐が頻繁な利用者様に対しては食事提供を自宅環境に合わせるなどし、地域 (主に自宅) での暮らしの支援に繋げている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の今の暮らしに必要な支援について把握し、地域資源との結びつきまでは活かせていない。</li> <li>・民生委員さんの活動については知ることができたが、地域での暮らしの支援までは活かせていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護が必要になって出来なくなった地域での活動を再開してやりがいや生きがいを持ってもらうために、利用者と地域での関りについて調べる。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 16日 ( 14:00 ~ 15:00 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー (常勤) 横山 永田 丸岡 小松  
(非常勤) 木下みさ 杉本 藤極 小平 木下馨  
鳩間 浅野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	11人	人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中で暮らしていく上で現在困っている事の聞き取りを行い支援していく。</li> <li>・コロナ禍で地域交流が出来なかった為、今後落ち着いてきたら今まで取り組んできた個人の習慣・趣味(俳句の会・音楽鑑賞等)やイベント(町内の行事)など参加していく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中で暮らしていく上で現在困っている事の聞き取りを行っている。また利用者の中には、思いを伝えることが難しい方もいるため、「聞き取り」という形ではなく、訪問や送迎時の利用者の生活環境の変化や食事量、嗜好などをミーティングで議題として取り上げ、利用者自身に意思決定を促し、柔軟な支援に取り組んでいる。</li> <li>・今まで取り組んできた個人の習慣・趣味を継続する支援ができています。また、利用者のしたいことについて同じ趣味の人同士を引き合わせる事が出来た。ご家族様が主催するイベントにも参加することができた。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?			7	4	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		10	1		11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	7	2		11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	8	1		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の関りや記録から利用者の変化に気づき、ミーティング等で共有し、その日の本人の状態・ニーズに合わせた支援ができており、入浴支援の際に浴槽からの立ち上がりに不安を感じている利用者に対して、理学療法士と協力して日々の生活の中で車椅子駆動練習や筋力運動、環境調整を行い、動作の安定性の向上が図られ、利用者の不安の軽減につながった。</li> <li>・コロナ禍においても利用者の状態変化について職員間で共有し円滑な感染対策が行えている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所以外の地域の資源を活用しての支援ができていない。</li> <li>・あまり会話をされない利用者、利用頻度が少ない利用者の意見や変化が組み取れていない。</li> <li>・訴えが少ない利用者との関わる時間が少ないことがある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場内での学習会を行い、介護経験に関係なく利用者の声にならない思いを引き出し、プランに反映していく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 10 月 16 日 ( 14 : 00 ~ 15 : 00 )

6. 連携・協働

メンバー (常勤) 横山 永田 丸岡 小松  
(非常勤) 木下みさ 杉本 藤極 小平 木下馨  
鳩間 浅野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6 人	3 人	2 人	11 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>子ども食堂に参加し、地域貢献に努める</li><li>福祉用具(車椅子・リクライニングボード)など職員で使用方法など共有していく</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>域福祉活動委員会への参加を行った。</li><li>食育活動に参加された児童に食育に関する間違い探しゲームのプレゼント作りを行った。</li><li>小規模が主体の地域福祉活動ができていない。・福祉用具の使い方について職員の他にも、利用者さんやご家族様とも共有できている。・新しい福祉用具(入浴手すり・スライドボード・ストレッチャー浴槽・Hug(電動リフト式立位補助器))が導入されており、理学療法士を中心に目的・効果・使用法について学んでいる。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		1	2	8	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?				11	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?			1	10	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			1	10	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>病院受診に同行し主治医と服薬などに関する情報共有を行った。</li><li>自宅での看取りを希望されたご家族に対し、訪問看護事業所と相談・退院カンファレンスを行った。未取りについて不安解消をし、「こんなときどうしたらいい?」の声にすぐ対応することができた。</li><li>利用者の入浴方法の調整や家屋改修の際に福祉用具事業所と福祉用具の選定の相談・検討を行い、職員間で使用方法の統一を図り、安全と自立支援が両立したケアの提供ができた。</li><li>同じ建物内の入居者(グループホーム)と囲碁活動の関わりを持つことができ、共通の趣味を持った新しい友人づくりや、今までできなかったことへの挑戦の機会提供ができた。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>地域包括支援センターとの会議(関わり)に参加できなかった。</li><li>ドライブなどの外出は不定期で計画されているが、地域イベントへの参加にあまり繋げる事ができなかった。</li><li>食育活動・鯖江中学校広報部との関わりは施設としてはあるが、小規模中心の活動ではない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>利用者に関して地域包括支援センターと連携して情報共有を図り、スムーズな利用開始に繋げていく。</li><li>利用者の思いを聞き取り、地域で開催されているイベント等に参加し地域との繋がりを確保していく。</li></ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 16日 ( 14:00 ~ 15:00 )

7. 運営

メンバー (常勤) 横山 永田 丸岡 小松  
(非常勤) 木下みさ 杉本 藤極 小平 木下馨  
鳩間 山口 浅野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	7人	1人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・小規模多機能としての役割を知り、運営方針を理解し、日頃より利用者・家族・介護者及び地域から意見が聞き取りやすい環境づくりを行っていく。</li><li>・送迎時や訪問時に家族や近所の方など関わりを持ち、相談事には対応できるようにする。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・担当会・カンファレンス・送迎時にご家族様から意見を頂いており、利用者・家族・介護者及び地域から意見が聞き取りやすい環境である</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		2	7	2	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	2	1	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		3	4	4	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?				11	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業所のあり方についてミーティングで意見交換を行っている。</li><li>・利用者、家族・介護者からの意見、苦情を運営に反映している。</li><li>・Agatte コーヒー (地域福祉活動) の報告を運営に反映させている。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ感染対策の為運営推進会議の開催が難しく、地域の方からの意見を運営に反映できていない。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・今後も利用者・家族・地域の方から意見を伺いながら、利用者に必要なサービスを提供していく。</li><li>・サービス担当者会議を通じた事例検討で意見交換を行い、意見の中から業務改善を行っていく。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 10 月 16 日 ( 14 : 00 ~ 15 : 00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー (常勤) 横山 永田 丸岡 小松  
(非常勤) 木下みさ 杉本 藤極 小平 木下馨  
鳩間 山口 浅野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	人	9 人	人	人

前回の改善計画	・理学療法士が作成した介助チェックリストに基づいて、研修を受け職員で共用し、実践して行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・理学療法士の指導によりリハビリの機会が増え自立支援につながっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	4	4	1	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	3	3	11
③	地域連絡会に参加していますか				11	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	2	3	5	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・事業所職員を対象にした AED・緊急時対応研修を実施。全職員と対象とした必須研修と専門研修を開催し、ケアのスキルアップを図った。 ・職場外では、ケアマネや理学療法士が資格更新やスキルアップの為の研修に参加し、利用者の生活リハや車椅子調整に活かす事ができ、職員への福祉用具使用方法などの指導、月 1 回の感染症対策の検査を実施した。 ・毎月 Agatte 委員会 (地域連絡会) に参加し、地域の方に事業所での取り組み内容の報告などを行った。 ・各委員会にて事故発生防止や利用者の栄養状態や褥瘡の把握、感染症対策に取り組んでいる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・11 月時点では職員全員が研修を受けていない。 ・リスクマネジメントに関して、職員間での情報共有が不足していた。 ・必須・専門研修への全職員への参加が行えておらず、スキルアップが十分に図れていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・これまで実施してきたリハビリを継続し、理学療法士が常駐したことで今後は利用者の状態に合わせて都度修正しながら充実を図る。 ・初回の担当者会議のときに意見が出た日常生活や利用者、家族が求めている課題に対して、利用中に生活リハビリ (おじぎ体操、立ち上がり運動など) を実践し、課題解決に取り組んでいきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 16日 ( 14:00 ~ 15:00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー (常勤) 横山 永田 丸岡 小松  
(非常勤) 木下みさ 杉本 藤極 小平 木下馨  
鳩間 山口 浅野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	1人	人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングを利用者の前でしないようにし、スタッフルームで行うようにする。</li> <li>・今まで通り拘束や暴言などせず、個人情報の管理を徹底するように継続していく</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りが必要な利用者もいらっしゃるのので、スタッフルームでのミーティングは行われていない。利用者の安全を見守りながら、聞こえないよう配慮できる、キッチンや和室で行われている。</li> <li>・利用者の個人情報やプライバシーに関わらないような内容 (机の場所、利用者のしたい事) などは利用者にもミーティングに参加してもらうことがある。</li> <li>・身体拘束や暴言などの不適切ケアは行われていない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	3			11
②	虐待は行われていない	8	3			11
③	プライバシーが守られている	1	10			11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	9	1		11
⑤	適正な個人情報の管理ができている		11			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束・虐待はしていない。高齢者虐待と身体拘束についての研修を実施している。また予防の為の取り組みとして身体拘束廃止委員会による「虐待の芽チェックリスト」の活用を行っている。</li> <li>・基本的なプライバシー保護 (排泄時に扉を閉める、不用意に露出をしない、大きな声で排泄の話をしなない等) は守られている。個人情報保護とプライバシー保護についての研修を実施している。</li> <li>・必要な方に成年後見制度を活用している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者とのコミュニケーションの際や利用者に関する検討の際にプライバシーの配慮が不足していた。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に「虐待の芽チェックリスト」による振り返りを行い、利用者へのプライバシー配慮などの職員全体での意識付けを促していく。</li> </ul>	